

キャラクター名

プレイヤー名

藍住白湯(あいずみさゆ)

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	ウロボロス					
オプショナル			年齢	14	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	殺戮		初期侵食率	50 %
出自	藍住一家(義理の両親)		経験	玉野椿(力の暴走)	邂逅	藍住林檎(家族)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	0	0	0	1		1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：芸術(音楽)	1		知識：知識(日常)	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：隠(アカデミ)	2		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
初めの筆「滴」	R C	5r+2		9		80%以下の素の火力。狂想宣言済み。
メの筆「飛沫」	R C	1r+37		29		120%以上。クリンナップに敵60点ロス。(ランナウト嗜ませて)
継の筆「硯」	R C	5r+2				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
学園の腕章		ロイス			
ブラックローレイ					
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		申し子	P	N	
		藍住一家	P 誠意	N 疎外感	
		玉野椿	P 尊敬	N 劣等感	
		土浦菜南	P 幸福感	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P: 6 残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値 - LV(下限値7)								
原黄：狂想の旋律	3	5	セットアップ	視界	範囲(選択)	自動成功	-	
効果：ラウンド中、対象の攻撃力を+[LVx3]、受けた対象は暴走、拒否可能、暴走中なら更に侵食値+2								
飢えし影	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：攻撃力+[LV+2]の射撃攻撃								
拡散する影	4	3	マイナー	至近	自身	自動成功	80%	
効果：メインでの攻撃判定時、任意の - 【精神】以下のダイスを減らす、達成値を+[減らした数xLV]								
原白：クレイジードライブ	3	7	メジャー	-	-	-	80%	
効果：攻撃力+[LVx4]、暴走中使用可								
ランナウト	1	6	オート	至近	自身	自動成功	Dロイス	
効果：エフェクト使用直前にLVを+2 シナリオLV回まで								
原灰：鮮血の修羅	4	8	メジャー	-	単体	対決	120%、衝動、殺戮	
効果：1点でもダメ通った場合クリンナップに - (LV×10)点与える、メイン終了時自身のHP5点ロス								
原黒：ライトスピード	1	7	マイナー	至近	自身	自動成功	100%	
効果：メインプロセスでメジャーを2回行う。判定のC値+1、シナリオ1回								
シャドウダイバー	★	2	メジャー	至近	単体	自動成功	-	
効果：対象の感情を読み取る、こちらの<RC>と対象の<意志>で対決が可能								
イーザーフェイカー	★							
効果：<壁抜け>を取得								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

やさぐれ系白黒男子。

成長期の少年にしては小柄で線が細い。年相応に生意気なところがある。

年齢ゆえのやさぐれと過去負ったトラウマから日常という感覚から遠ざかる。

能力の特徴からジャーム化が危惧された白湯はオーヴァードが集まる学園島へと転校することになった……

孤児で天涯孤独の身だったところを藍住一家に拾われる。藍住家は父がUGNエージェントであるためそのままチルドレンとして訓練を受けることになった。

自分より3歳上の義姉「藍住林檎」のことは心より尊敬している。好物は姉が焼いてくれるアップルパイ。

能力はウロボロスシンドローム。発動時は華のような身体を持つ多頭の蛇が顕現する。蛇が放つ墨色の毒はレネゲイドウィルスを活性化させる作用を持ち、白湯が能力を発現中は敵味方関係無く暴走の危険性が高くなる。

1年前、藍住一家に恨みを持つFHエージェントから急襲を受けたことがあり、その時に林檎をかばうため能力を使用。結果、白湯本人が暴走してしまい、守るべき家族を傷つけてしまったことがトラウマになっている。

恋愛事には興味はあるが本人は気になる相手はいない模様。(姉に対する感情は正の感情ではあるが恋ではない)

割と察しは良い方。ませていやがる。

アカデミアでのセッションを2本経験。

人間的にも大分成長しお姉ちゃんとの過去も良い形で昇華出来てきてそう。お姉ちゃんのアップルパイまた食べたいね。

最近では日常にかげれつつあり風紀委員の仕事にも少しずつ本人なりのやりがいを見出している模様。

最近まで音楽なんかに興味は無かった様子だが土浦菜南からブラックローレイの新譜を押し付けられ、少しずつ聴き始めた。

「もうこれっ！本当最高だから！！白湯くんにも貸してあげようと思ってたら間違って2枚買っちゃったよ～。ってことであげるからぜひ聴いてね。感想待ってるから！」

こうも押しが強くては断る隙などありはしない。けどまあ。自分じゃなくて誰かが好きなものを知るために時間を使うっていうのも……悪くないのかな。